

# マイノリティに対する差別と偏見



社会的に弱い立場にある人に対する差別と偏見は、時代とともに生まれ、繰り返され、ますます増加傾向にあります。社会の構造的な問題を個人の自己責任に押し付けようとする風潮、情報を操作する権力者、不安を煽るメディア、悪意に限らず善意と思ってデマを広げる市民などによってフェイクニュースが拡散されマイノリティをさらに傷つけています。マイノリティに対する差別と偏見をなくすために私たちにできることはなにか、幅広い角度から学びます。

## 第1回

9/7 (水) 18:30 ~ 20:30

【会場】HRCビル 5階ホール

### 偏見・差別と社会心理学 – 公正世界信念とは –

むらやま あや

講師：村山 綾 (近畿大学 国際学部 准教授)

公正世界信念(仮説、誤謬ともいう)とは、世界は公正だから人の行いに対してふさわしい結果が返ってくる、悪い人には悪いことが起こり良い人には良いことが起こるといった考え方。例えば「自業自得」「自分で蒔いた種」など。被害者非難や弱者たたきの心理について学習する。

## 第2回

9/21 (水) 18:00 ~ 20:00

【会場】総合生涯学習センター

### 難民支援から見える日本の外国人政策

たなか けいこ

講師：田中 恵子 (RAFIQ ラフィク 在日難民との共生ネットワーク共同代表)

日本の難民認定率は先進国と比較しても圧倒的に低い。今年はウクライナ情勢を機に「難民」の受け入れが進んでいるように見えるがウクライナの人たちは難民条約に基づく「難民」ではなく「避難民」とされ期限付きの滞在しか認められていない。難民支援の活動を通じて日本の難民政策の問題点について学習する。

## 第3回

10/5 (水) 18:00 ~ 20:00

【会場】総合生涯学習センター

### AI時代の平和と人権 ~ IT革命の進化をふまえて ~

きたぐち すえひろ

講師：北口 末廣 (近畿大学 人権問題研究所 主任教授)

AIの進化が権力者によって軍勢力となり平和を脅かし人権を侵害するという時代に、平和を望み人権を尊重する市民には何が出来るか。AIが差別と偏見を助長しないように見張るためには、人権教育と情報リテラシー教育を重要視することが必要であるということについて学習する。

◆定員 事前申し込みで各回50人程度 (先着・定員に達するまで受付)

◆会場 【第1回】HRCビル 5階ホール 大阪市港区波除 4-1-37 TEL 06-6581-8691

【第2・3回】大阪市立総合生涯学習センター 5階 第1研修室

大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル 5階 TEL 06-6345-5004

◆受講料 各回1,000円